

背景

京丹後市は、令和3年5月に「**SDG s 未来都市**」に選定。令和3年11月にSDG s 未来都市の推進に向けたキックオフイベントを開催し、**地元の高校生から「丹後万博」のアイデア**の提案があり、今年度、事業化に至る。

事業目的

2025年開催の「大阪・関西万博」を控え、アフターコロナの新しい時代への転換点を迎えている中で、将来世代(高校生等)が中心となって企画・運営するSDG s の祭典「丹後万博」を開催することで、SDG s の理念の浸透を図り、その達成に向けた取り組みを加速させるとともに、先端技術の活用や環境問題への新たな挑戦など、地域課題の解決策を提示し、**2030年のその先(+Beyond) のまちの姿を考える機会**とするもの。

事業内容

丹後万博2022 -伝統×革新-

日時：令和4年10月30日(日) 9:30~16:00

場所：丹後王国「食のみやこ」

テーマ：つながり、つなげるー人と人 人とももの とももの 過去と現在 現在と未来

【主なコンテンツ(一部抜粋)】

- SDG s ファッションショー(ジェンダーレス、異文化交流、アップサイクルテーマに高校生が検討中)
- 高校生SDG s レストラン(スイーツ、ジビエカレー、加工品等)
- コミュニティ通貨「まちのコイン」の運用実験(各種体験に参加して万博内で使えるポイントを獲得。獲得したポイントを高校生が開発した景品にも交換可能)
- 海洋プラスチックや丹後ちりめんの端切れ等のアップサイクル企画 等



提案の様子

SDG s 未来都市 京丹後市
KYOTANGO CITY



↑丹後ちりめんがモチーフの市オリジナルロゴマーク

関連するSDGsゴール



京都府京丹後市 SDG s の祭典「丹後万博」開催プロジェクト

得られる
成果等

成果・目標

- 1 SDG s を自分事に
- 2 将来のまちの姿を考える機会に
- 3 大阪・関西万博に向けた機運を高める

企業に求めるもの等

- ✓ **高校生等の将来世代が企画・運営する内容へのアドバイス**
- ✓ 企業版ふるさと納税による開催費用の支援

企業のメリット

- ✓ **次世代の人材育成への貢献**
- ✓ SDGs達成への取組を通じた企業価値の向上

企業との連携イメージ(案)

- ✓ **丹後万博において企業ブース出展**
- ✓ SDG s 達成への取組を通じた企業価値の向上

寄附を
する
メリット
等



丹後万博の開催に向け、テーマ・コンテンツ等の検討を行う高校生。今後、地域の団体や事業者とも連携しながら開催準備を進めていきます。

企業版ふるさと納税制度を通じた
丹後万博への応援をお願いいたします！

【連絡先】市長公室 ふるさと応援推進室(担当：増馬・山添)
Mail:kikaku@city.kyotango.lg.jp
TEL:0772-69-0120